

生産技術情報PF

計画実績連携PF

企業まるごとPF

設備管理PF

現場情報管理PF

企業間連携PF

予知保全PF

保守サービスPF

中小企業向けものづくり プラットフォーム

株式会社アプストウェブ
サイボウズ株式会社



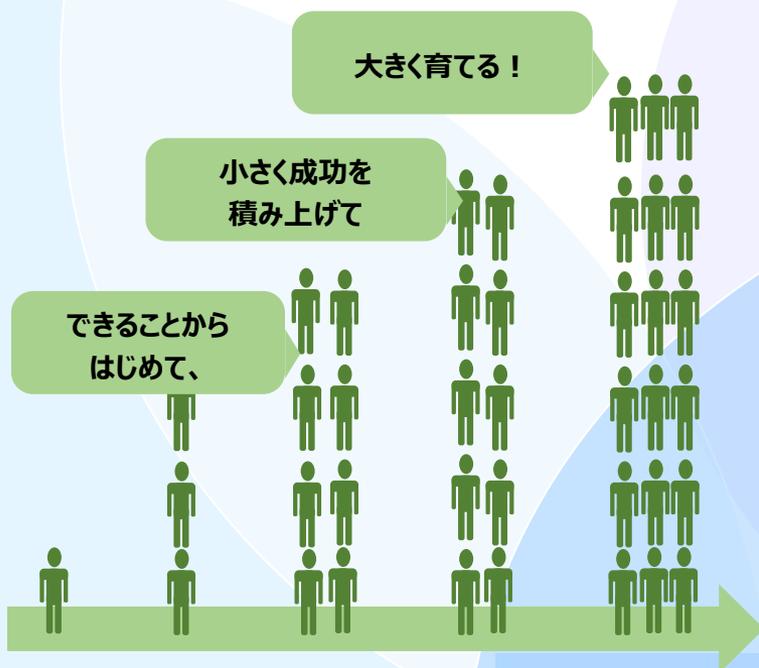
Industrial
Value Chain
Initiative



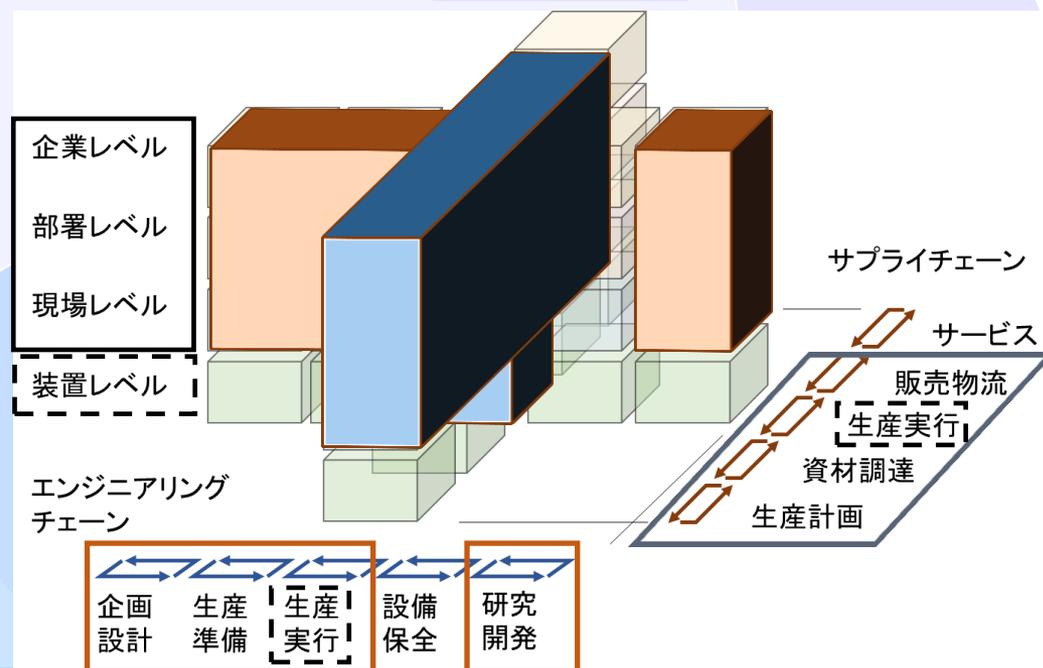
IVI公開シンポジウム-Spring-
2017年3月10日

- 小規模事業者、中小企業にITカイゼンを促進するためのプラットフォーム
- 各種業務テンプレートで機能網羅性を確認しながら、徐々にシステム化を進め、小さな成功を積み重ねていくアプローチに適する

コンセプト

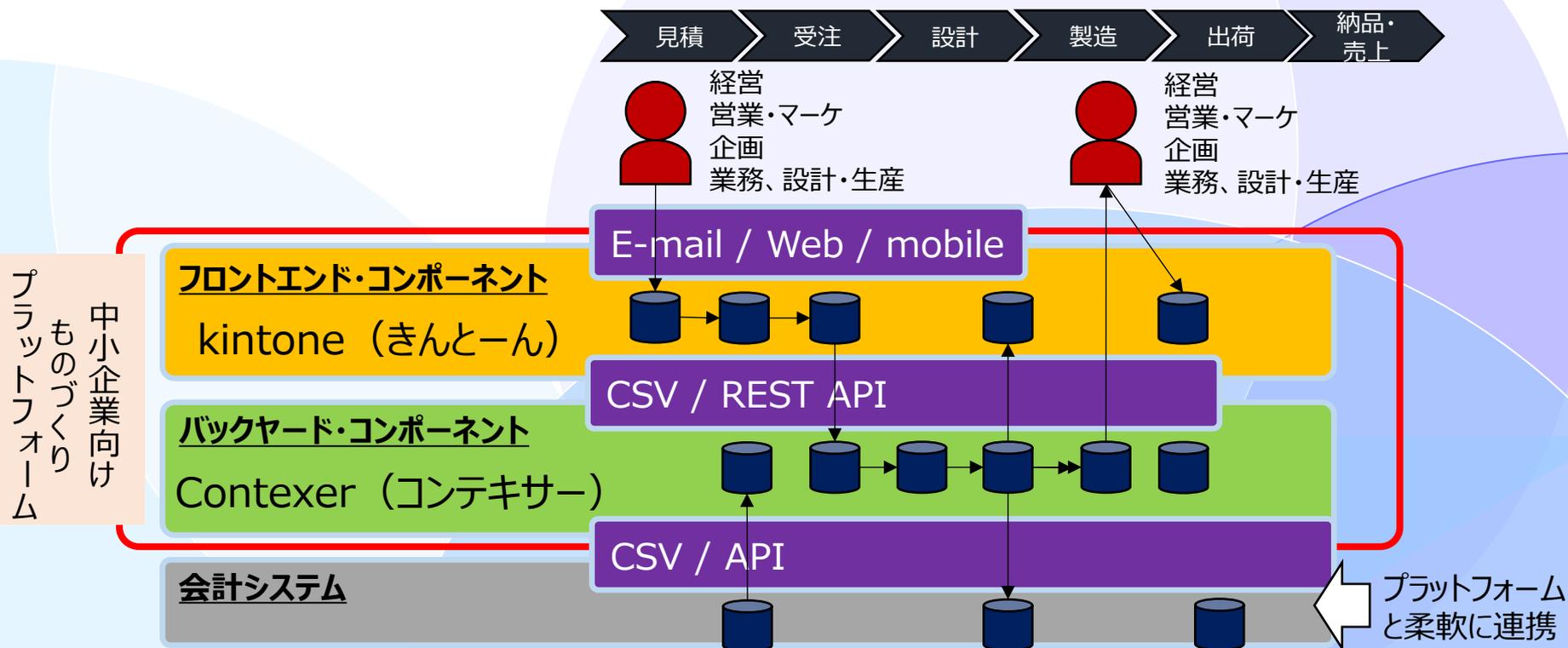


対象スコープ



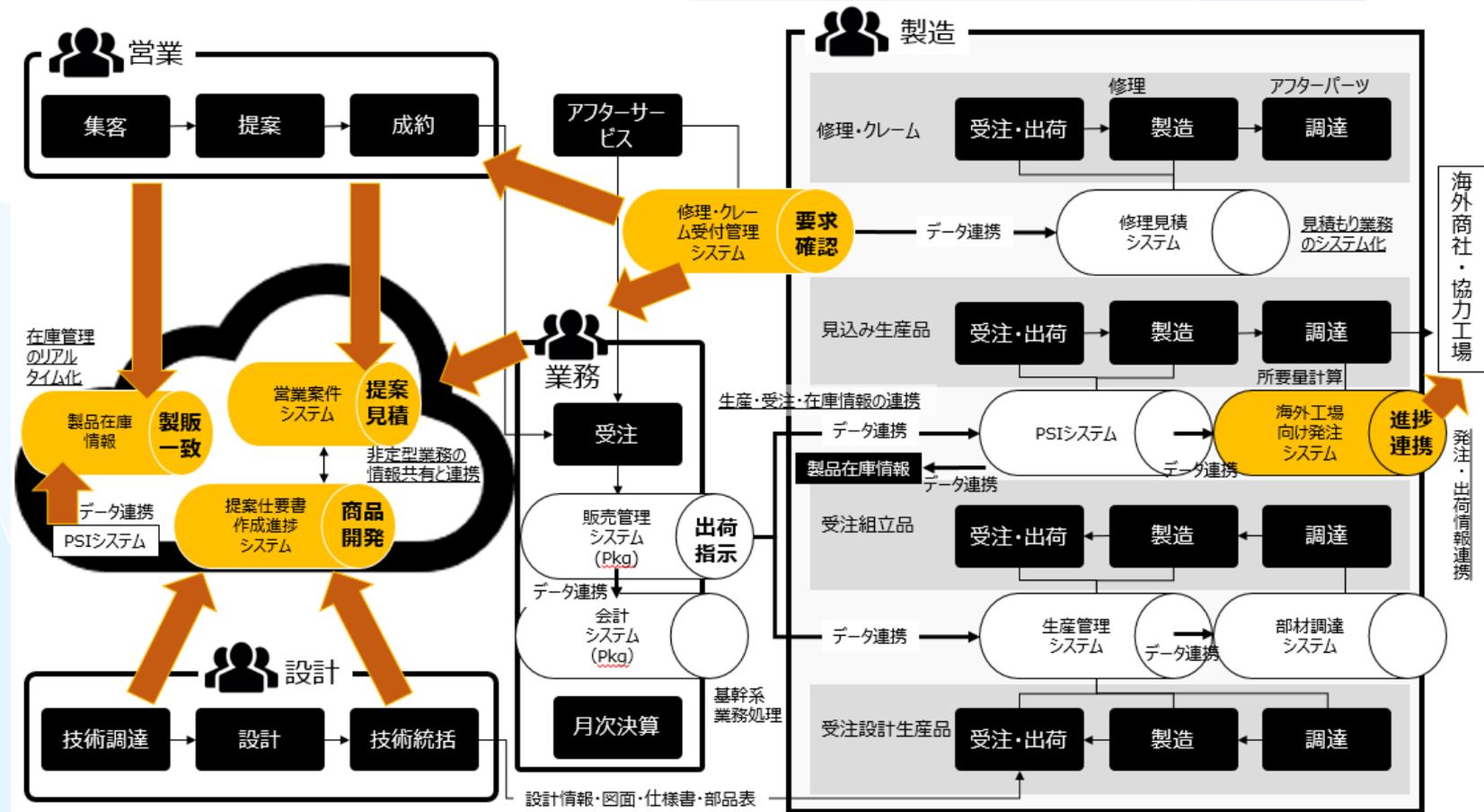
特徴と主なコンポーネント

- 独自の強い業務はkintoneで「お絵かき」構築
- 基本的なものづくり業務を行うためのアプリケーションテンプレート（顧客管理、案件管理、見積管理、販売管理、生産管理、購買管理）はコンテキサーを利用



利用例 (IVI-WG参加企業での例)

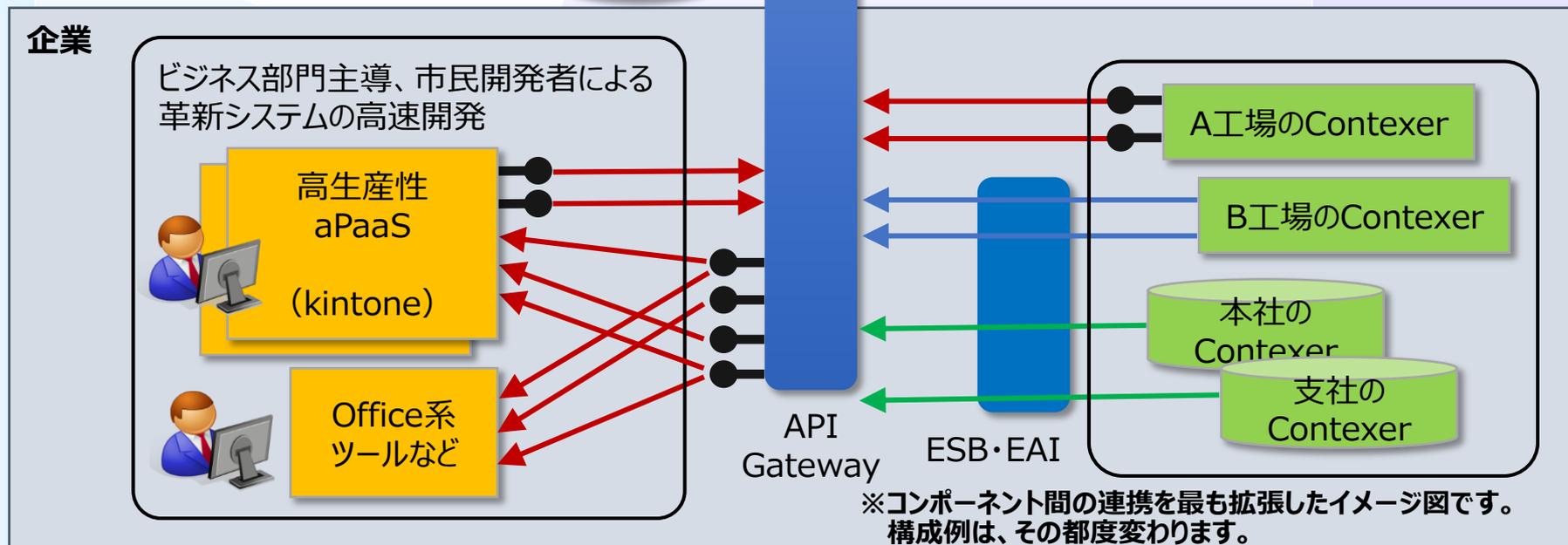
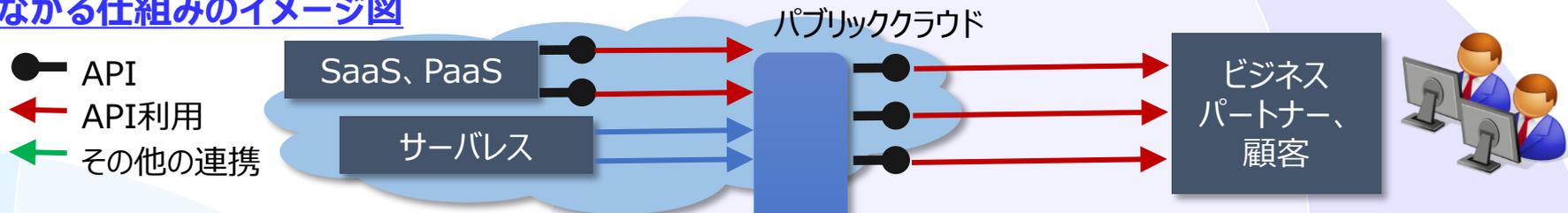
- フロントエンド (黄色、前工程・意思決定業務)
- バックヤード (白色、確定情報の処理業務)

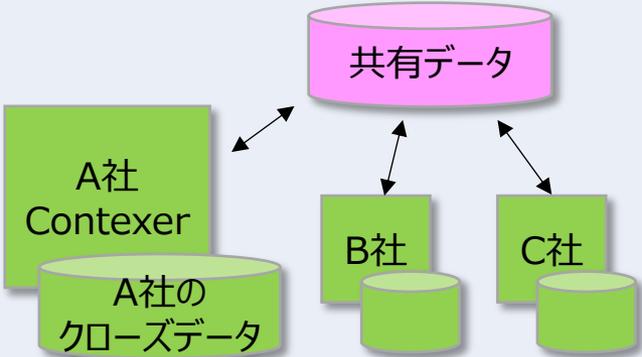
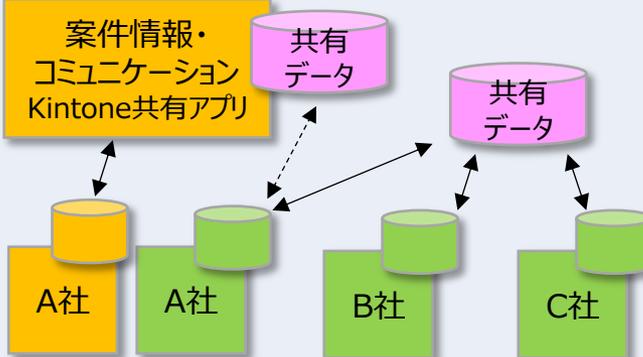


当プラットフォームのつながる仕組み

- kintoneとContexer間には相互のデータ連携APIを利用してつないでおり、同様の方法で様々なコンポーネントとつながることが可能 (kintoneはAPI仕様が公開済、ContexerクラウドデータベースもAPI仕様公開準備中)

つながる仕組みのイメージ図



	2H01：中小企業の水平連携における技術情報の伝達と共有	2H02：中小企業の水平連携と進捗の見える化 ※昨年からの継続部分
概要	<p>連携する製造企業間で、試作案件のように変更が起こりやすい顧客からの要求仕様を共有しつつ、各企業のノウハウとなる生産仕様の情報をクローズ管理する</p>	<p>連携する製造企業間で、引合などの案件情報や、企業間の受発注、および受発注に関わる工程進捗の情報を見える化・共有する <small>※工程進捗データを現場センサーから収集、可視化、共有する部分は富士通殿のプラットフォームで検証</small></p>
利用形態	<p>Contexerを利用</p> 	<p>kintone/Contexer双方を利用し連携</p> 
プラットフォームとして得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを円滑に行うコンポーネントとしてのkintoneの重要性 確実なセキュリティ確保とユーザーフレンドリーなデータのアクセス制御 	<ul style="list-style-type: none"> kintone/Contexer両コンポーネント間の接続実用性の確認 センサーのような新たなコンポーネントとつなぐ時のデータ仕様（例えばvol、頻度、構造など）の事前理解の重要性

• 感想

- IVIでの考え方や他プラットフォームの考え方を踏まえ、自社らの製品のプラットフォームとしての要素、コンポーネントとしての要素を振り返る良い機会となった

• IVIのゆるやかな標準への対応について

- 主なコンポーネントであるkintone/Contexerともにデータモデル自体から定義可能なので、IVI共通データモデルに合わせたものを用意していくアプローチは可能と考える

• 期待

- エコシステム化させていくための、プラットフォームとコンポーネントの定義・切り分けの議論と合意形成
- 異なるプラットフォーム製品を使う企業間での連携の在り方（プラットフォーム間がつながる？コンポーネントを介してつながる？）

 cybozu

ApstoWeb

ご清聴ありがとうございました